

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	屋外空気環境小委員会	主 査 名：持田 灯 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (空気環境運営委員会)	委員長名：佐土原 聡 主 査 名：倉渕 隆
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>快適な屋外環境の形成に資することを目的、以下の 2 項目</p> <p>① 都市の風環境、汚染質拡散の乱流数値解析手法</p> <p>② 都市の換気・通風性状の定量化手法</p> <p>について、現状の技術水準を明らかにするとともに、それらを適切に利用するための技術資料を論文や刊行物として整理することを目的とする。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>持田灯 (東北大学)・富永禎秀 (新潟工科大学)・義江龍一郎 (東京工芸大学)・飯塚悟 (名古屋大学)・大岡龍三 (東大生研)・石田義洋 (東大生研)・大黒雅之 (大成)・片岡浩人 (大林)・白澤多一 (大妻女子大学)・高木賢二 (鹿島)・土屋直也 (竹中)・野津剛 (清水)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>・都市の汚染質拡散の乱流モデリング WG：CFD に基づく乱流解析手法を都市の汚染質拡散問題へ適用した場合の留意点や適用範囲を明らかにする。</p> <p>・都市の換気・通風 WG：都市の換気・通風性能を予測・制御するため、現状の技術を明らかにし、風を適切に利用するための技術資料を整備する。</p>	
2011 年度予算	180,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://www.ytomi.net/aij_okugai/

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. なし
講習会	1. なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. なし
大会研究集会	1. なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 汚染質拡散モデリング WG：建物周辺の汚染質拡散に関する国際的なベンチマークテストとして知られる MUST ケースを対象として、複数の機関で計算を実施し、その成果を国際会議で発表。80%の達成度。</p> <p>2. 換気通風 WG：市街地の換気・通風性状に関して各委員が研究を進めながら、現状の研究動向や今後の進むべき方向について意見交換した。80%の達成度。</p> <p>3. 原子力発電所からの放射性物質の拡散 (当初計画には無し)：放射性物質の拡散が屋外空気環境に及ぼす影響やその予測手法について、数回の勉強会を実施し、得られた知見や今後の課題を整理した。90%の達成度。</p> <p>4. 勉強会「福島第一原子力発電所事故による放射性物質の拡散」開催 講師：中山浩成氏 (日本原子力研究開発機構) 2011 年 7 月 25 日 (出席者 20 名)</p> <p>5. 勉強会「放射線の人体へのリスク評価」開催 講師：緒方裕光氏 (国立保健医療科学院) 2011 年 10 月 28 日 (出席者 15 名)</p> <p>6. 緊急空気シンポジウム「空気環境を守る」(2011 年 8 月 22 日)において「放射性物質拡散の現況と予測」のタイトルで小委員会での検討結果を報告 (2011 年度空気シンポの企画を進めたが、東日本大震災の影響で緊急シンポジウムにテーマ変更となり、実現には至らなかった)</p>
委員会活動の問題点・課題	最終的な成果のアウトプットの内容や仕様を、設計実務や行政におけるニーズ等を調査しながら具体的にしていく必要がある。